

## 朝礼 校長講話（1月23日）

暦の上では一年で一番寒い季節とされています。そしてその通り、先週はこのあたりでも大雪になり皆さんも雪の中苦労して学校へ登校しました。先生の家は四日市なのですが、電車も止まり、家から出ることができずお休みをしてしまいました。申し訳ありませんでした。

そして、それにあわせて、インフルエンザもじわじわとはやりかけています。クラスでは換気などを行っていますし、一人一人は手洗いやうがい、マスクなどの予防をしっかりしてほしいと思います。

今日は手短かにひとつお話をします。先日、アメリカの大統領がオバマさんからトランプさんに代わり、その就任式が行われました。トランプさんは大統領選挙期間中からその言動が話題になり、どのような就任演説をするか注目をあびていました。そのなかでマスコミが取り上げた言葉が、「America First」です。演説の中で2回出てきたそうです。「America」という単語は34回出てきたそうです。そのことについて、テレビやインターネットで「自分の国のことばかり考えて」と批判的なコメントも多く出ていましたが、はたしてそうでしょうか。「アメリカが一番」というこの言葉、大統領なら当然考えることではないでしょうか。大統領が自分の国のことを一番に考えないで、誰が考えるでしょう。

このことを皆さんに置き換えて考えてみると、「自分が一番」と自分自身が思わないで、誰が思うのでしょうか。学校では毎学期「セルフチェックアンケート」をしています。その中に「あなたは、自分のことが好きですか」という問いがあります。自分のことを好きでない人が、他の人を愛することはできますか。皆さんはかけがえのない命をもっています。そして親や家族から多くの愛情を注がれています。だから、「自分ファースト」なんです。

そして、ここで忘れていけないのは、あなたの隣にいる人も「ファースト」だということです。隣の子も、かけがえのない命をもち、

親や家族に愛されていて「ファースト」な存在なのです。

トランプさんがアメリカのことだけを考えて政治を行えば、それはとても心配ですが、「America First」と同時に、「Japan First」「England First」と世界の国々のことも尊重しながら進んでいけば、それは大いに期待できると思います。そこを見守っていきたいと思います。